



第24回 九州ブロック 介護老人保健施設大会 with熊本

大会を終えて②
基調講演・特別講演・シンポジウム③
分科会【実技演題】④【一般演題】⑤

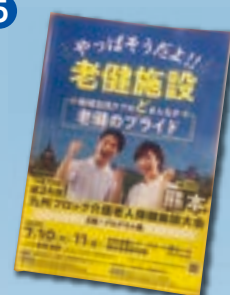
令和6年度 熊本県老人保健施設大会⑥

令和6年度 熊本県老人保健施設協会中堅・主任者職員研修会⑧

令和7年度 新人職員研修会⑨

役員名簿／3委員会委員名簿／新役員ごあいさつ⑩

熊本県老人保健施設一覧⑪ お知らせ・編集後記⑫



一般演題

一般演題では、介護の現場で日々取り組まれている創意工夫や努力の数々が発表を通して伝えられました。



第24回九州ブロック介護老人保健施設大会with熊本の感想・振り返り

2年前から準備を始め、度重なる打ち合わせや挨拶廻りを経て、やっとの思いで迎えた当日でした。あっという間の、感慨深い2日間でした。会員施設の皆さまには協賛依頼やスタッフ動員等で大変ご負担をおかけしましたが、県老健の結束力、底力を見ることができたのではないかと思います。ご協力に心より感謝申し上げます。

会場・式典・展示部会長 西田 剛

第24回九州老健大会with熊本が盛況のうちに終了しました。学術部会責任者として講演や演題の調整に携わり、多彩な発表と活発な交流を通じて、老健の可能性と未来を実感できる貴重な機会となりました。実技演題など新たな試みも加わり、学びと刺激に満ちた二日間となりました。ご協力・ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

学術部会 當利 賢一

第24回九州ブロック介護老人保健施設with熊本大会を終えて、広報部会活動に携わって熊本大会の活動準備状況等をもっとSNSやAI等を駆使して発信出来ればと悔やまれますが、懇親会では金澤会長の発想・アイデアにも助けられ各県の参加者から「これまでの懇親会の中で一番楽しめました」との声に安堵しました。本大会の成功には各老健スタッフの一致団結によるものと感謝申し上げます。

広報部会 後藤 健

実技演題

今回初めて実施された「実技演題」では、10施設が実技を交えて発表し、動画などを用いた工夫を凝らした演出が注目を集めました。

様々な環境・条件と利用者のニーズをもとに集団活動を行う事について
～音楽療法士の視点からの考察～

熊本県

介護老人保健施設
フォレスト熊本

認知症ケア・その他



西の果てから発信!!
～ノーリフティングケアって当たり前～

長崎県

介護老人保健施設
リハビリセンター ふくえ

全般的なケア、食事・栄養口腔ケア



QOLを高める農的活動
～「できる」を引き出す農福連携～

熊本県

介護老人保健施設 平成唯仁館

認知症ケア・その他

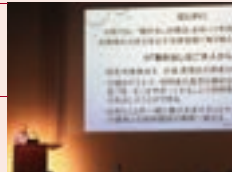


ひとりで寝れました!
～「動き出しは本人から」に取り組んで～

熊本県

介護老人保健施設 聖ルカ苑

全般的なケア、食事・栄養口腔ケア



アクティビティ・ケアから考える認知症ケアの可能性
～当施設における五感刺激を活かしたリラックスプログラム実践モデルの導入～

熊本県

介護老人保健施設
おおつかの郷

認知症ケア・その他



住み慣れた地域でいつまでも暮らすために
～老健施設ができること～

佐賀県

介護老人保健施設
グリーンヒル幸寿園

全般的なケア、食事・栄養口腔ケア

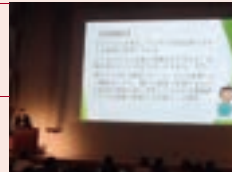


働きやすい職場づくりが生産性向上につながった
～職員の身体的負担・心理的不安の軽減から～

熊本県

介護老人保健施設 ほんごう苑

業務改善・環境改善・効率化



ADLとACPIに関する施設内外との情報共有の試み
～くまもとメディカルネットワーク(KMN)の活用 第1報～

熊本県

介護老人保健施設 青翔苑

ICT関連(介護ロボット・AI等)、
在宅復帰・地域支援



ひむか苑における生産性向上の取り組み
～人材の確保と定着を目指して～

宮崎県

介護老人保健施設 ひむか苑

業務改善・環境改善・効率化



当施設インスタグラム活用の実践
～利用者が輝く・職員が育つ・地域とつながる～

熊本県

訪問リハビリテーションセンター
清雅苑

ICT関連(介護ロボット・AI等)、
在宅復帰・地域支援



展示ブース紹介



開会の挨拶では、金澤会長が昭和62年に老人保健施設モデル事業のスタートに合わせて設立された「老人保健施設連絡協議会」の活動や目的について触れました。時代の移り変わりの中で、老健で働く人たちが知識を深め、疑問を解決しながら、よりよい「ろうけん」の姿を模索し続けてきたことに触れ、その意義を強調。「本日も共に学び合いましょ」と呼びかけました。来賓として出席した県健康福祉部 長寿社会局の篠田氏は、「分科会発表に至るまでには、さまざまな試行錯誤があったはずですが、そのプロセスを伺えるのを楽しみにしています」と挨拶。熊本市健康福祉局高齢者支援部の濱洲氏は、「こうした情報共有こそが活用につながり、保健福祉の発展にも寄与します」とのメッセージを述べられました。



熊本市健康福祉局
高齢者支援部 部長
濱洲 紀子 氏



県健康福祉部
長寿社会局 局長
篠田 誠 氏



特別講演

講師…二番町法律事務所弁護士 島戸 圭輔氏

講師…公益社団法人全国老人保健施設協会 事故検討会委員

医師 内藤 圭之氏

座長…熊本県老人保健施設協会

副会長 田中 素美

今年度の特別講演では、多角的な理解を深め、主体的に学べるようワーク形式で行われました。まず、座長の田中副会長が、重大事故事例を取り上げ、ご本人の要因や家族の対応、介護者の対応、施設環境などの視点から詳しく解説。その後、参加者は数人ずつのグループに分かれてワークに取り組みました。

グループ内では「転倒の前兆を見逃していたのではないか」「利用者が焦るような声掛けがあった可能性は？」といった意見が交わされ、資料を読み返しながら議論を深める姿も見られました。どのグループも多角的な視点で活発に意見交換を行い、学びを深めていました。

続いて、全国老人保健施設協会で事故検討担当委員を務める内藤医師が登壇。「このケースでは施設側に一定の安全配慮義務があると判断し、ご家族と誠意を持って話し合うよう伝えました」と説明しました。その一方で、「転倒＝事故」とは必ずしも言えないと指摘し、2011年に日本老年医学会と全国老人保健施設協会が共同で発表した「介護施設内での転倒に関するステートメント」と紹介。



島戸圭輔弁護士

島戸弁護士は「歩行の安定性に関する記録は、訴訟になった場合の主要な争点になり得る。一貫した説明ができるよう、第三者の目に触れても問題のない適切な記録を残しておくことが重要です」と述べました。

分科会

1

1 老健の管理栄養士にできる地域支援
～認定栄養ケア・ステーションの役割～
太陽 管理栄養士 田中 教子

2

2 地域における介護老人保健施設の役割
～地域貢献活動を通してみえた当施設の役割と強み～
おおつかの郷 音楽療法士 立山 真由美

3

3 制服変更が職員の意識と利用者の満足度に与える影響
～アンケート調査による実証研究～
清雅苑 介護福祉士 斎藤 巧

4

4 生産性向上にどう取り組む？
～魅力ある職場づくりにむけて～
天草中央総合病院附属介護老人保健施設 支援相談員 萬谷 郁美

5

5 農業の原動力と福祉の可能性
～「できる」を引き出す農福連携～
平成唯仁館 介護福祉士 榮本 祐太

6

6 介護サービスの質の維持・向上を目指して
～急増する介護ニーズに対応したい～
ほんごう苑 介護士 筒井 健嗣

2

1 移乗介護支援ロボット使用での利用者や職員の負担軽減への取り組み
ケアセンター赤とんぼ 介護福祉士 兵頭 まどか

2 「孫の結婚式に参加したい」を叶えるために
～フォレスト熊本のチームケア～
フォレスト熊本 作業療法士 原田 千穂

3 入所及び退所における訪問活動から
チームアプローチに繋がった事例
ぼたん園 理学療法士 宮本 朋美

4 排泄機能向上を目指して
～骨盤底筋体操を取り入れて～
ゆうきの里 介護福祉士 貞富 雄一郎

5 「歯と口の教室」から得られた事
～健口から健康、そして健幸へ繋げよう～
青翔苑 介護福祉士 山本 聖子

6 病院併設型老健での定期回診の
効果についての検討
シルバーエイト 看護師 谷口 江美

優秀
演題

令和6年度 介護老人保健施設事業功労者

厚生労働大臣、全国老人保健施設協会会長並びに熊本県老人保健施設協会会長 表彰受賞者

◎厚生労働大臣表彰

ぼたん園 理事長 富島 三貴 様
リバーサイド御薬園 看護師 三川 紀子 様
リバーサイド御薬園 事務員 塩井 貴裕 様

◎全国老人保健施設協会会長表彰(個人表彰)

リバーサイド御薬園 作業療法士 多田 茜 様

◎熊本県老人保健施設協会会長表彰

ぼたん園 理学療法士 里井 宏之 様
ぼたん園 介護福祉士 屋田 貴史 様
清雅苑 理学療法士 當利 賢一 様
青翔苑 介護福祉士 山本 聖子 様

基調講演

さあ2040年に向けて私たち老健はどうするか ～老人保健施設に期待されるもの～

2025年度の自分たちの 目標を明確にしよう

講師…一般社団法人熊本県老人保健施設協会 会長

金澤 知徳

冒頭、「国内での高齢化が急加速する今、私たちは何を期待されているのか」と問いかけられた金澤会長。社会保障の流れをあらためて説明しながら、「私たちは、在宅セレクトアップ（医療施設と自宅をつなぐ中継ぎ）の役割をずっと求められ、これからも期待されている」と訴えられました。

それを踏まえ、2040年に向けて意識するべき5つのポイントを挙げられました。

1. 在宅復帰・在宅支援機能の強化
2. 医療と介護の連携の深化
3. DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進
4. 介護人材の確保・育成
5. 地域包括ケアシステムの中核的役割の確立

特に地域とのつながりを深めることが重要であり、その一環として、施設の魅力を高めながらTQM・TQCの向上に取り組む必要があると指摘されました。各施設の事情を考慮しながら、これらの取り組みを継続的に実行していくことが、2040年問題の解決への一助となるのではないかと強調し、挨拶を締めくくられました。





講義Ⅰ

介護老人保健施設の理念と役割
(新しい仲間知っておいてほしいこと)

熊本県老人保健施設協会副会長 鶴田 克家



講義Ⅱ

認知症高齢者の理解とケア

フォレスト熊本 総合ケアサービス部
通所リハビリテーション科長 高木 啓司



講義Ⅲ

身体拘束・虐待防止について

桔梗苑 介護主任 山下 範洋



講義Ⅳ

老健における多職種協働について

リバーサイド御薬園 看護介護部長 三川 紀子



講義Ⅴ

リハビリテーションケアについて

清雅苑 リハビリテーション部主任 當利 賢一



講義Ⅵ

グループワーク
「仕事上の悩み・疑問点とこれからの目標」

(進行 研修企画委員)

業種ごとに数名ずつのグループに分かれ、日頃感じている悩みや疑問を出し合いました。「仕事のお願いの仕方が分からない」「移乗のコツを教えてください」など、さまざまな課題が挙げられ、それぞれのグループで解決策や今後の取り組みを話し合いました。

各班の発表後、進行役からは「自分たちでできることを考え、前向きに取り組んでほしい」とのエールが送られました。



令和7年度新人職員研修会

開催日 令和7年9月30日(火)
会場 熊本県医師会館 6階 大会議室

今年度の新人職員研修会には44人が参加し、老健施設で働くうえで必要となる基礎を学ぶとともに、仲間とともに現場の課題について考え合い、理解を深めました。研修を通じて、それぞれが今後の成長につながる一歩を踏み出す機会となったようです。

1日目

講義「将来に向けた施設運営のあり方」

熊本県老人保健施設協会会長 金澤 知徳

老健が目指すべき姿を現状の課題と照らし合わせながら説明。「今後は、利用者や家族、地域の方々との丁寧な付き合いが大切になってくる」と締めくくられました。



講義「介護老人保健施設の運営基準」

なごみの里 事務長 西田 剛

根拠法規に基づく運営をはじめ、2024年4月1日より義務化された栄養・口腔管理、虐待の防止などを紹介されました。



講義「部下の指導育成に活かすコーチング」
～人を育てる聴き方、話し方～

コーチングルームオフタイム マスターウェルネスコーチ 芦村 恵氏
4～6人の14グループが、コミュニケーションとコーチングをワーク形式で学んだ。傾聴や承認も演習し、参加者からは「職場で活用したい」などの声が聞かれました。



グループワーク「1日目の講義を受けて」

～各施設で工夫している事～

【進行】研修企画委員会委員 今村 嘉宏

10グループに分かれ、30分間の振り返りを行いました。工夫している事よりも、「地域とのつながりを持つのは、簡単なようで難しい」との意見が多く出されました。

2日目

講義「テクノロジーの活用による業務効率・生産性の向上について」

清雅苑 施設長 野尻 晋一

AIや介護ロボット、ICTなどの活用による生産性向上とLIFEアセスメントにおける独自の取り組み例を説明されました。最後は、最新テクノロジーの動画の紹介と倫理的課題を織り交ぜながら、90分の講義は終了しました。



講義「実践！認知症高齢者のケア」

フォレスト熊本 総合ケアサービス部

通所リハビリテーション科長 高木 啓司

専門性の高い支援や認知症ケアができる人材の育成ポイント、パーソンドケア的なチーム構築、環境整備の重要性を訴えられました。「その人自身を見つめましょう」という言葉が印象的でした。



講義「ハラスメントとメンタルヘルス」

認定医療法人 明和会 くまもと悠心病院

臨床心理士／公認心理師 林田 秀樹氏

各種ハラスメントの定義と対策を踏まえ、カスハラのひとつ「認知症高齢者による暴言・暴力」への要望などを伝えられました。また、ストレスチェックを行い、セルフケアを実践しました。



グループワーク「2日目の講義を受けて」

～研修全体での学びについて
各施設で工夫できること～

【進行】研修企画委員会委員 萩原 康平

9グループが所属施設の課題、悩みなどを話し合った後、発表が行われました。「認知症への対応が役立った」「テクノロジーをうまく使い、労力を減らしたい」などの意見が出ました。



令和6年度中堅・主任者職員研修会

開催日 令和6年10月30日(水)・31日(木)
会場 熊本県医師会館

「中堅・主任者職員に求められているもの」をテーマとし、2日間わたる研修会が行われました。



熊本県老人保健施設協会会員施設一覧

熊本市

- ①清雅苑
- ②桔梗苑
- ③レ・ハビリス桜十字熊本東
- ④青翔苑
- ⑤阿房宮
- ⑥杏の里
- ⑦南楓苑
- ⑧光乃里
- ⑨ぎんなんの里
- ⑩湧心苑
- ⑪ケアビレッジ箱根崎
- ⑫ぼたん園
- ⑬白藤苑
- ⑭みつぐ苑
- ⑮のぞみ
- ⑯シルバーピア水前寺
- ⑰メディエイト鶴翔苑
- ⑱フォレスト熊本
- ⑲なすび園
- ⑳田迎ケアセンター
- ㉑ケアセンター赤とんぼ
- ㉒なでしこ
- ㉓かなこぎ苑
- ㉔葵の森
- ㉕コスモピア熊本
- ㉖第二コスモピア熊本

宇城

- ㉗青海苑
- ㉘あさひコート
- ㉙景雅苑
- ㉚なごみの里
- ㉛松幸

天草

- ㉜慈恵苑
- ㉝本渡ケア・ホーム
- ㉞臥龍園
- ㉟松朗園
- ㊱ブルーマリン天草
- ㊲ケアセンター鶴丸
- ㊳天草中央総合病院附属介護老人保健施設
- ㊴きららの里
- ㊵ほんごう苑
- ㊶ケーナ・ガーデン
- ㊷夢織りの里天草

玉名

- ㊸聖ルカ苑
- ㊹慈眼苑
- ㊺樹心台
- ㊻ゆうきの里
- ㊼清風苑
- ㊽星雲荘
- ㊾てんすい倶楽部
- ㊿幸

山鹿

- ㊿希望の園
- ㊿山鹿リハビリセンター
- ㊿太陽

菊池

- ㊿サンライズヒル
- ㊿桜の里
- ㊿おおつかの郷
- ㊿ひらせ記念リハビリ苑
- ㊿孔子の里
- ㊿リハビリセンターきくちの里
- ㊿有隣

阿蘇

- ㊿阿蘇グリーンヒル
- ㊿愛・ライフ内牧
- ㊿おぐに老人保健施設
- ㊿リハセンターひばり

上益城

- ㊿彩雲苑
- ㊿ライフライト矢部
- ㊿御船清流園
- ㊿平成唯仁館
- ㊿ナーシングケア緑風苑
- ㊿ケアポート益城

八代

- ㊿八祥苑
- ㊿ハピネスケア日南
- ㊿向春苑
- ㊿リハリゾート桜十字八代
- ㊿かがみ苑
- ㊿とまと
- ㊿皇寿園

芦北

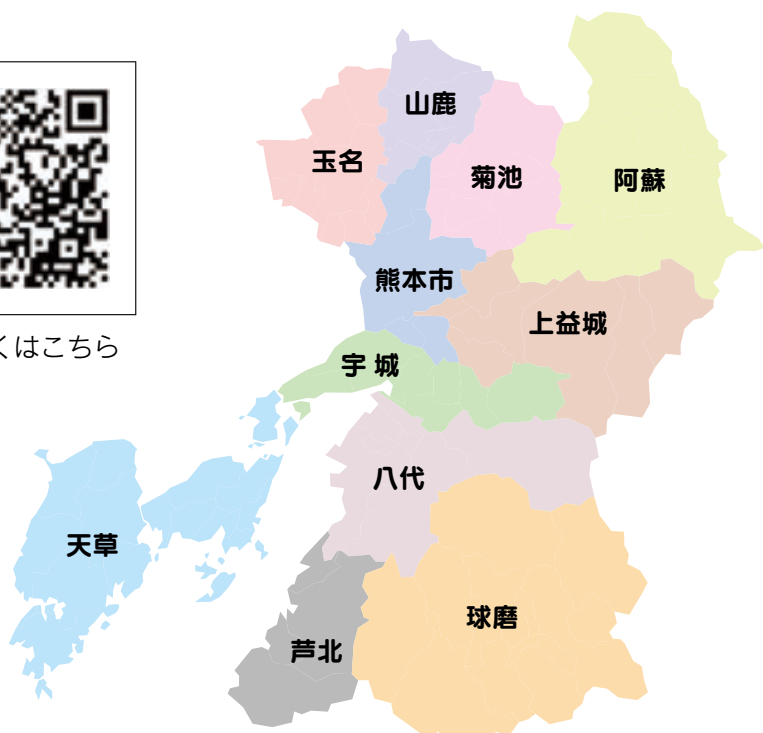
- ㊿やすらぎ苑
- ㊿白梅の里
- ㊿新清苑

球磨

- ㊿サンライフみのり
- ㊿リバーサイド御葉園
- ㊿つつじのさと
- ㊿シルバーエイト
- ㊿タンポポ
- ㊿愛生
- ㊿もみの木



▲詳しくはこちら



役員名簿

会 長	金澤 知徳	青翔苑 理事長
副会長	田中 素美	おおつかの郷 施設長
	鶴田 克家	メディエイト鶴翔苑 理事長
理 事	山田 和彦	リバーサイド御葉園 代表
	荒瀬 一巳	ナーシングケア緑風苑 理事長
	保利 真理	希望の園 施設長
	藤岡 靖也	御船清流園 理事長
	水足 秀一郎	太陽 理事長
	富島 三貴	ぼたん園 理事長
	松下 和徳	白藤苑 施設長
	小田 哲也	景雅苑 理事長
	眞鍋 哲郎	白梅の里 理事長
	野田 賢之介	ケーナ・ガーデン 理事長
	松本 篤子	かがみ苑 施設長
	津野田 尚子	みつぐ苑 理事長
	新任 芳賀 克夫	天草中央総合病院附属介護老人保健施設 施設長
監 事	上野 博久	ぎんなんの里 理事長
	新任 河喜多 保典	公認会計士河喜多会計事務所 所長

3委員会 委員名簿

総務委員会	委 員 長	西田 剛	なごみの里 事務長
	副委員長	溝上 英幸	コスモピア熊本 ヘルスケア事業部部长
		黒土 達也	ぼたん園 事務長
		甲斐 靖彦	メディエイト鶴翔苑 副施設長
		茨木 國隆	サンライズヒル 事務長
研修企画委員会		橋口 貴大	おおつかの郷 リハビリテーション部部长
	委 員 長	當利 賢一	清雅苑 リハビリテーション部主任
	副委員長	田尻 誠子	白藤苑 栄養管理部部長
		萩原 康平	メディエイト鶴翔苑 理学療法士主任
		緒方 久美子	希望の園 言語聴覚士
広報委員会		今村 嘉宏	ゆうきの里 人材開発課課長
		三川 紀子	リバーサイド御葉園 看護介護部長
		山下 範洋	桔梗苑 介護主任
		新任 土野 千佳	桜の里 管理栄養士
		新任 元田 圭紀	太陽 支援相談連携室室長
	委 員 長	古澤 浩幸	湧心苑 事務長
	副委員長	田中 教子	太陽 栄養課主任
		西 淳亀	南楓苑 事務長
		新任 中西 ひとみ	ぎんなんの里 支援相談員主任
		新任 屋田 貴史	ぼたん園 介護科長

新役員ごあいさつ



芳賀 克夫 新理事

ぬくもりのある居場所を目指して

皆様、新たに理事に加えていただいた芳賀克夫(はがよしお)と申します。元々外科医でしたが、8年前に天草中央総合病院の院長として赴任しました。2年前から付属老健の施設長も兼任するようになりました。

さて、老健の業務ですが、なるべく療養棟に顔を出し、職員や利用者さんに声をかけるようにしています。当たり前のことですが、真心を込めて挨拶を行っています。やがて自分も利用者となる立場になるかもしれません。利用者さんを自分の父母のように慕い、孝行していきたいと思います。

協会の皆様には至らぬことが多いかと存じますが、本会のお役に立てるよう全力を尽くして参ります。どうぞよろしくお願い致します。



河喜多 保典 新監事

地域に根ざした老健施設の発展に向けて

この度、本年6月開催通常総会において監事に選任いただき就任いたしました公認会計士の河喜多保典と申します。

今日の高齢化社会において、介護老人保健施設は高齢者が自立して生活でき在宅復帰するための役割を担い、住み慣れた地域社会で安心安全な生活ができるよう支援するなどその役割の重要性は増しているものと思います。

県内の老健施設の情報交換、職員教育・研修等を実施する当協会の活動もまた重要性が増しているものと思います。公益性の高い事業を実施する当協会の監事として、会員の皆様方のご指導ご鞭撻を賜りその職務を果たしてまいりたいと存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

●は令和7年度ブロック代表者施設です。

[老健職員に向けた応援歌をみんなで作ろう]プロジェクト

“九州ブロック老健大会with熊本”をきっかけに立ち上がった本プロジェクト。大会会長による作曲のもと、プロジェクトメンバーの協力を得て、応援ソング「踊ろうけん」が完成しました。この曲には、九州ブロックの皆さまとともに今大会を盛り上げたいという思い、そして日々懸命に働かれている老健施設の皆さまへの応援の気持ちが込められています。



踊ろうけん

グッモーニンおはよう 元気かい
そんな顔してどうしたの
それよりこっちに 来てみたら
恥かいたってくじけたっていいじゃないのさ そうさ
ぼくらには コレがある
自由にえがける 夢がある そうさ
みんなが仲間さ あ 踊ろうよ ルンルン (アローケン)
肩まわして 手挙げて 脚ならして 踊ろうよ
肩まわして 手挙げて 脚ならして さあ 踊ろ

グッモーニンおはよう ありがとう
あれから あの人 よかったよ
そしたら こっちも 元気もらってね
困ったって ぶつかったって 何とかなったよ そうさ
ぼくらには コレがある
あなたに届ける 声がある そうさ
ぼくたちは 響き合う だから
みんなが仲間さ あ 踊ろうよ ルンルン (アローケン)
肩まわして 手挙げて 脚ならして 踊ろうよ
肩まわして 手挙げて 脚ならして さあ 踊ろ (ローケン)

そうさ
ぼくらには コレがある
自由にえがける 夢がある そうさ
ぼくらには 君もいる だから
みんなが仲間さ あ 踊ろうよ そうさ
ぼくらには コレがある
あなたに届ける 声がある そうさ
ぼくたちは 響き合う だから
みんなが仲間さ あ 踊ろうよ ルンルン (アローケン)
肩まわして 手挙げて 脚ならして 踊ろうよ
肩まわして 手挙げて 脚ならして さあ 踊ろ



編集後記

- 平成23年から県老健協の委員として活動させて頂きましたが、この度令和7年3月を持ちまして委員を終了いたしました。活動中は様々な体験や学びがあり充実した日々を送らせて頂き有難うございました。(後藤 健)
- 永年にわたって広報委員長を務められた後藤さんに感謝いたします。この度その後任として広報委員長を拝命しました。還暦を過ぎておりますが、若い方たちに最新の情報を教えてもらいながら情報発信に努めてまいります。よろしくお願いいたします。(古澤 浩幸)
- 広報委員を拝命いたしまして3年目となりました。不慣れなこともございますが、精一杯務めさせていただきます。後藤前委員長、長い間お疲れ様でした。フレッシュなメンバーで広報を支えていきます。宜しくお願いいたします。(田中 教子)

- 第24回九州ブロック老健熊本大会は様々な形で貢献された皆様大変お疲れ様でした。広報委員として2年が経過し智慧より汗が多く出ているところですが、皆様とともに老健存続のために努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。(西 淳亀)
- この度、広報委員を拝命いたしました、ぎんなんの里支援相談員中西ひとみと申します。微力ではございますが会員の皆さまを繋ぐ架け橋となるよう心を込めて取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。(中西 ひとみ)
- この度、広報委員として活動することになりました、ぼたん園の屋田貴史です。介護の魅力を「ろうけん熊本」から発信できるよう努めてまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。(屋田 貴史)

広報委員 古澤 浩幸 (湧心苑) 田中 教子 (太陽) 西 淳亀 (南楓苑)
中西 ひとみ (ぎんなんの里) 屋田 貴史 (ぼたん園)

印刷：シモダ印刷株式会社

【広報委員募集中！】